

長野県におけるベニシダの分布

大塚孝一（長野県自然保護研究所）

Koichi Otsuka : Distribution of *Dryopteris erythrosora* in Nagano Prefecture

はじめに

ベニシダ *Dryopteris erythrosora* (Eat.) O. Kuntze は常緑性のシダで、本州、四国、九州に広く分布し、低山帯の林下や村落の路傍などにごく普通に生じる（岩槻 1992）。長野県では木曽中部以南と下伊那を中心に、一部内陸部にも分布している（清水編 1998）。葉は全長 70~120cm、深緑色で、表面には光沢がある。若葉は紅色を呈し、また包膜は若いときに紅色をしていることから、ベニシダの名がある。

このベニシダについて、2000 年の時点における長野県内の分布を調査した。調査地点は県内の神社林を中心に 100 ヶ所である。また、文献におけるベニシダの記録と標本の記録についても調査を行った。

近年、地球温暖化の傾向からか、ツマグロヒョウモン等の暖地性の蝶類が長野県において、以前に比べより北方にまで分布を広げている例が知られている（田下他編 1999）。植物については、植物体そのものが移動できないので、顕著な事例は明らかなでないが、同様なことが考えられる。常緑広葉樹のシラカシ *Quercus myrsinaefolia* Blume では、伊那谷において宮田村あたりまで幼木がかなりみられ、また上田市や坂城町の里山においても、山ざわの神社や墓地などに植栽された木の堅

果が鳥などにより近隣に運ばれてか、従来実生からは冬を越せないといわれていたが、実生から生長したと思われる幼木が近年多数観察されている。今回、暖温帯性のベニシダが長野県においてどのような分布状況にあるのか、その資料を得るために調査を行った。

調査の概要

調査 I（現地調査）

1 調査期間

2000 年 3 月から 12 月。

2 調査地（図 1・表 1）

神社林を中心に 100 ヶ所でベニシダが生育しているかどうかを調査した。生育に適さない場所、例えば林床が裸地化したり、自然的植生が貧弱な場所または草刈り等の手入れが過度になされている場所等は調査の対象外としたので、訪れた場所は 150 ヶ所ほどにのぼる。神社林は主としてスギ林で、自然的植生が残り、ベニシダの生育に適している。また、将来にわたり環境が保全されると予想され、以後の動態調査が可能で調査地点が特定されやすいことから、主に神社林を調査場所とした。神社林としての範囲が明確にわかる場合はその範囲とし（無理なく歩ける範囲で）、本殿が山を背負ったような場所では、本殿の背後、あるいは横側、およそ 40×40m

ほどを調査範囲とした。

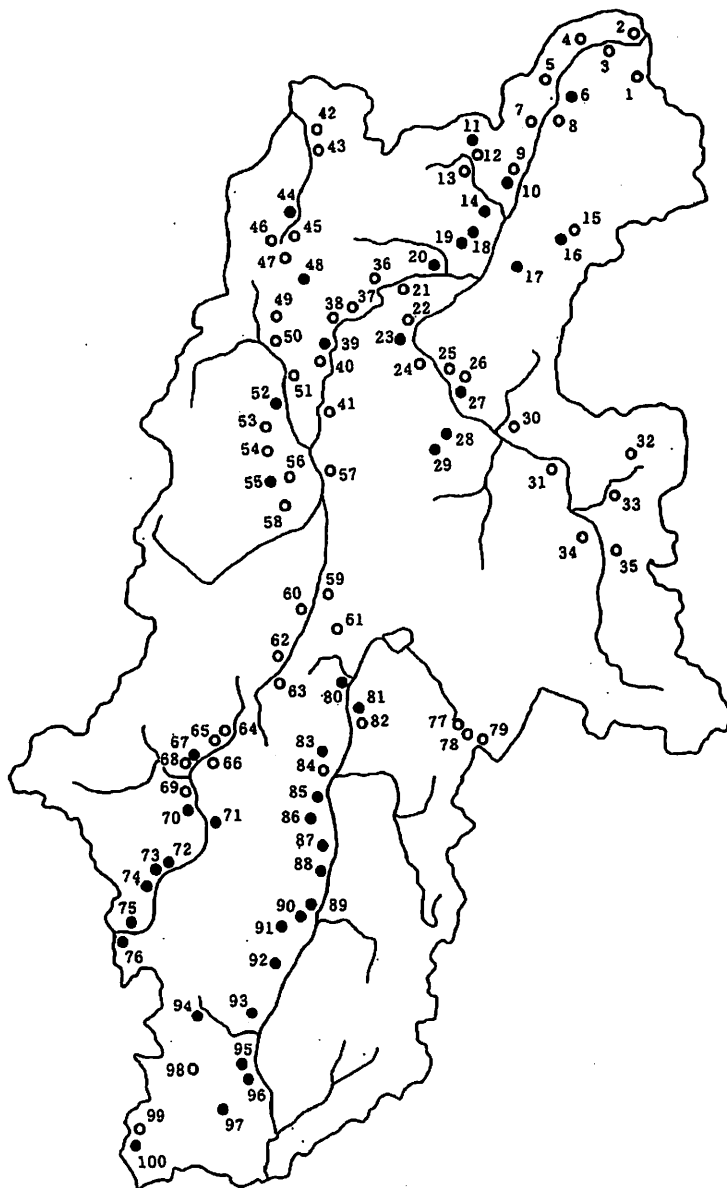


図1. 調査地とベニシダの有無

●はベニシダが自生していた場所 ○はベニシダが発見できなかった場所

3 調査項目等

①調査月日。②調査地名。③調査地の位置：
五万分の一地図名・メッシュ位置（環境庁発

行「都道府県別メッシュマップ 20 長野県」
による）。④海拔高度。⑤方位・傾斜。⑥生
育地の大きさ（m×m：神社林の大きさとは

一致しない)。(7)生育地内の現存数(ランク):
IV, 50~99株; V, 100~999株, VI, 1000
株以上。(8)生育地内の最も密度が高い生育場
所 10×10m の現存数(ランク): I, 1株
のみ; II, 2~5株; III, 6~9株; IV,
10~19株; V, 20~49株; VI, 50~99
株; VII, 100~199株; VIII, 200株以上。

I, 1株のみ; II, 2~9株; III, 10~49株;
⑨葉の長さ(cm): 株中最大葉の平均の長
さとし, 10株以上ある場所では最も大きい
と思われる10株の平均とする。⑩生育地の
概要(主な植生: 高木層(優占種), 亜高木
層, 低木層, 草本層)。⑪出現するシダの種
類。⑫生育地の概況図。

表1 調査地とベニシダの有無

番号	調査地名	5万分の1地形図名と メッシュ位置	海拔高度 (m)	調査月日 (2000年)	ベニシダ の有無
1	栄村北野・北野神社	苗場山・5538-3416	490	10/21	
2	栄村青倉・豊三斎稲瀬神社	苗場山・5538-3485	380	10/21	
3	野沢温泉村東大滝・大滝神社	飯山・5538-3369	320	10/21	
4	飯山市新屋・白山神社	飯山・5538-3366	340	5/1	
5	飯山市豊田・願国玉神社	飯山・5538-3300	400	4/29	
6	飯山市瑞穂・小菅神社	飯山・5538-2364	580	6/25	有
7	飯山市静間・薬師堂	中野・5538-1298	340	10/19	
8	木島平村小見・川谷大元神社	飯山・5538-2332	350	6/25	
9	豊田村六田・八幡神社	中野・5538-1235	400	10/19	
10	豊田村米山・スギ林	中野・5538-1224	540	10/19	有
11	信濃町野尻湖・弁天島	戸隠・5538-1197	680	10/8	有
12	信濃町針ノ木・針ノ木神社	戸隠・5538-1168	700	6/24	
13	信濃町落影・坂上神社	戸隠・5538-1137	700	6/24	
14	牟礼村平出・鶴山スギ林	戸隠・5538-0169	680	6/18	有
15	高山村殿平・皇太神宮	中野・5538-0312	800	11/11	
16	高山村黒部・スギ林	中野・5538-0300	680	11/11	有
17	須坂市小山・臥竜山	須坂・5438-7265	420	6/25	有
18	長野市浅川東条・八幡社	戸隠・5538-0116	460	10/19	有
19	長野市上松・昌徳寺	戸隠・5538-0115	480	4/2	有
20	長野市安茂里・厚川神社	長野・5438-7153	400	5/3	有
21	長野市下平・寄宮神社	長野・5438-7026	460	5/28	
22	長野市稲荷山・長谷寺	長野・5438-6058	440	5/27	
23	更埴市八幡・大蔵寺スギ林	長野・5438-6017	420	12/8	有
24	戸倉町若宮・佐良志奈神社	坂城・5438-5181	380	4/16	
25	坂城町日名沢・坂城神社	坂城・5438-5164	480	5/27	
26	坂城町南日名・季野宮	坂城・5438-5166	740	12/17	
27	坂城町南条・耕雲寺横のスギ林	坂城・5438-5116	480	12/17	有
28	上田市仁古田・寛容神社	坂城・5438-4144	500	5/17	有
29	上田市別所・安楽寺参道	坂城・5438-4112	610	3/27	有
30	上田市殿城・深澤神社	上田・5438-4284	680	12/9	
31	小諸市布引・布引観音参道	小諸・5438-3391	650	5/31	
32	軽井沢町湯分・清閑神社	軽井沢・5438-4404	980	12/9	
33	佐久市皆村田・鼻願稲荷神社	小諸・5438-3329	710	5/31	
34	佐久市前山・貞祥寺	小諸・5438-2356	720	5/31	
35	日田町宮代・新海三社神社	御代田・5438-2431	780	5/31	
36	中条村宮・諏訪社	長野・5438-7022	460	9/5	
37	信州新町新町・神部神社	長野・5438-6070	440	5/28	
38	信州新町日名・日置神社	大町・5437-6758	450	5/20	
39	八坂村柳沢・諏訪社	大町・5437-6717	470	5/20	有
40	八坂村野平・野平神社	信濃池田・5437-5786	540	5/20	
41	生坂村旭・日置神社	信濃池田・5437-5714	500	5/20	
42	小谷村宮ノ上・諏訪神社	白馬岳・5537-1794	600	6/4	
43	小谷村石原・石原白山社	白馬岳・5537-1753	550	6/3	
44	白馬村塩島・八幡宮・塩島城跡	白馬岳・5537-0740	700	6/3	有
45	白馬村殿平・八幡社	白馬岳・5537-0629	710	4/23	
46	白馬村飯森・飯森神社	白馬岳・5537-0608	700	8/16	
47	白馬村神城三日市場・神明社	大町・5537-7669	780	8/16	
48	奥麻村片岡・片岡沢スギ林	大町・5437-7752	720	10/22	有

49	大町市森・仁科神社	大町・5437-6657	770	9/29	
50	大町市大町・若一王子神社	大町・5437-6618	730	8/16	
51	大町市宮本・神明宮	大町・5437-5730	740	5/20	
52	松川町西原・有明神社	信濃池田・5437-4697	620	5/20	有
53	穂高町矢村・松尾寺	信濃池田・5437-4646	680	8/6	
54	穂高町牧・牧師神社	松本・5437-3681	660	8/6	
55	堀金村三田・賀茂神社	松本・5437-3638	630	7/16	有
56	堀金村上堀・諏訪社	松本・5437-3750	580	7/16	
57	豊科町田沢・田澤神明宮	松本・5437-3765	580	5/30	
58	三郷村北屋敷・住吉神社	松本・5437-3710	610	8/6	
59	塩尻市平出・平出の泉周辺	塩尻・5437-1715	760	11/25	
60	塩尻市本山・油生神社	塩尻・5437-0762	800	5/4	
61	塩尻市北小野・小野神社	塩尻・5437-0767	830	3/26	
62	塩川村鷺川・麻衣姫神社	塩尻・5437-0608	900	5/4	
63	塩川村太田・八王子神社	伊那・5337-7666	930	5/6	
64	日義村宮ノ越・徳育寺	伊那・5337-6661	860	5/4	
65	日義村原野・原野八幡宮	木曽福島・5337-6549	840	11/25	
66	木曽福島町伊谷・水無神社	木曽福島・5337-6516	850	5/4	
67	木曽福島町・木曽福島郷土館	木曽福島・5337-6526	860	11/25	有
68	木曽福島城山・山村稻荷神社	木曽福島・5337-6526	860	11/25	
69	上松町瀧脇・瀧脇神社	上松・5337-5565	750	11/25	
70	上松町小路方・小路方の竹林	上松・5337-5525	700	11/25	有
71	上松町立町・神明神社	上松・5337-4587	660	5/6	有
72	大桑村殿・白山神社	上松・5337-4523	560	5/6	有
73	大桑村野尻・白山神社	上松・5337-4510	560	5/6	有
74	南木曽町植其・八剣神社	森饒・5337-3469	460	5/5	有
75	南木曽町田立・元祖のスギ林	森饒・5337-3404	400	11/26	有
76	山口村上山口・諏訪神社	森饒・5337-2473	350	11/26	有
77	富士見町若宮・伏屋長者の墓	高遠・5338-6187	950	11/12	
78	富士見町横吹・千蔵園神社	高遠・5338-6169	920	11/12	
79	富士見町落合・机三社明神社	八ヶ岳・5338-6260	810	11/12	
80	辰野町荒神山・若宮八幡社	伊那・5337-7759	720	3/26	有
81	箕輪町南小河内・スギ林	高遠・5338-7010	740	11/18	有
82	箕輪町東箕輪・長岡神社	高遠・5338-7000	780	11/18	
83	南箕輪村大萱・信大農学部構内	伊那・5337-6735	770	3/26	有
84	伊那市春日公園・春日神社	伊那・5337-6706	660	7/20	
85	伊那市諏訪形・運動公園スギ林	赤穂・5337-5735	650	11/18	有
86	宮田村南割・スギ林	赤穂・5337-5703	720	11/18	有
87	駒ヶ根市赤穂・大御食神社	赤穂・5337-4766	640	11/19	有
88	飯島町石曾根・日曾利橋スギ林	赤穂・5337-4716	650	11/19	有
89	中川村伊那田島駅～田島スギ林	飯田・5337-3743	560	11/19	有
90	松川町大島・大島神社	飯田・5337-3721	680	11/19	有
91	高森町新田・光明寺	飯田・5337-2790	640	7/19	有
92	飯田市盛光寺・麻績神社	飯田・5337-2638	500	7/19	有
93	飯田市中川路・八幡宮	時又・5337-1655	420	7/19	有
94	阿智村星神・阿智神社奥宮	中津川・5337-1556	620	7/20	有
95	下条村勝平・大山田神社	時又・5337-0642	560	7/20	有
96	阿南町古城・八幡神社	時又・5337-0633	540	7/20	有
97	阿南町和合・熊野社	瀨島・5237-7680	580	7/20	有
98	浪合村宮ノ原・浪合神社	中津川・5337-0555	940	7/20	
99	根羽村宮ノ入・横見橋上	根羽・5237-7436	840	11/4	
100	根羽村万場瀬・八柱神社	根羽・5237-7406	600	11/3	有

調査Ⅱ(文献調査)

市町村誌自然編等におけるベニシダの記録

について調査した。

信州大学(SHIN)に納められている標本に

ついて調査した。

調査結果

調査Ⅲ(標本調査)

調査Ⅰ

調査した神社林等 100 ヲ所において、ベニシダが自生していた場所は 43 ヲ所、ベニシダが発見できなかった場所は 57 ヲ所であった。木曽谷では木曽福島町以南に分布する。伊那谷では下伊那で普通に見られるとされていたが、辰野町まで分布しかなり広い範囲に生えている。長野県中部や北部にも広く分布している。特に長野市周辺のスギ林では、よく探せば発見することはそれほど困難ではない状況にある。東信では上田市に分布するほかは知られていない。

垂直分布は山口村諏訪神社の 350m から、最高で木曽福島町木曽福島郷土館の 860m であった。標本産地としては、天龍村不当 280m (浅野 1988) から牟礼村飯綱東高原の 950m (藤原調査記録) がある。

ベニシダが自生していた場所 43 ヲ所について、現存数等は表 2 のとおりである。ベニシダの現存数については、木曽南部や下伊那地方では多く、北部では少ない傾向で 1 株のみや 10 株以下のところが多い。1 株のみのところでは葉の長さも短く、株も小さいものが多い。葉の長さの平均が 100cm を越えていたところは、須坂市臥竜山と飯田市麻績神社の 2 ヲ所で、各々 111.0cm と 100.1cm であった。須坂市では株数は 20 数株と少なかったものの、ほとんどの株で 100cm を越えており特異な状況であった。現存数の密度が最も高いところ (ランク VIII) は、山口村諏訪神社と飯田市麻績神社の 2 ヲ所であった (図 2)。



図 2. 飯田市麻績神社のベニシダ群生地

ベニシダが自生していた神社林等の優占種はスギが27例、ヒノキが15例あり、それぞれは42カ所のうちの63%と35%で、合計すると両種だけで98%を占めていた。ア

カマツが一例、上田市愛宕神社でみられた。長野県北部ではほぼスギ林で、南部ではヒノキ林が多かった。

表2 ベニシダの生育地の大きさ、現存数、葉の長さ、高木層の優占種

番号	調査地名	生育地の 大きさ(m)	現存数 ラツ	現存数ラツ (10×10m)	葉の長さ (cm)	高木層の 優占種
6	飯山市瑞穂・小菅神社	20×20	II	III	55.9	スギ
9	豊田村米山・スギ林	40×40	II	I	92.0	スギ
11	信濃町野尻湖・弁天島	10×50	III	IV	62.3	スギ
14	牟礼村平出・磐山スギ林	20×40	II	I	50.0	スギ
16	高山村黒部・スギ林	40×100	II	II	97.0	スギ
17	須坂市小山・臥竜山	10×20	III	V	111.0	スギ・アカマツ
18	長野市浅川東条・八幡社	40×40	III	III	92.4	スギ
19	長野市上松・昌禅寺	40×40	I	I	65.0	スギ
20	長野市安茂里・厚川神社	30×30	V	VI	86.9	スギ
23	更埴市八幡・大聖寺スギ林	30×40	II	I	74.0	スギ
27	坂城町南条・耕雲寺横のスギ林	20×40	II	II	68.0	スギ
28	上田市仁古田・愛宕神社	10×70	II	II	56.7	アカマツ
29	上田市別所・安楽寺参道	7×10	II	III	57.8	スギ
39	八坂村柳沢・諏訪社	50×70	I	I	50.0	スギ
44	白馬村塩島・八幡宮～塩島城跡	30×30	I	I	40.0	スギ
48	奥麻村片岡・片岡沢スギ林	20×20	I	I	26.0	スギ
52	松川町西原・有明神社	100×100	I	I	75.0	ヒノキ
55	堀金村三田・賀茂神社	50×50	II	II	35.6	ヒノキ
67	木曽福島町・木曽福島郷土館	10×20	I	I	42.0	ヒノキ
70	上松町小路方・ヒノキ林	20×40	II	II	46.5	ヒノキ
71	上松町立町・神明神社	40×50	IV	III	59.0	ヒノキ
72	大桑村殿・白山神社	20×30	II	II	65.0	スギ・ヒノキ
73	大桑村野尻・白山神社	40×50	IV	V	64.0	スギ
74	南木曽町柿其・八剣神社	7×15	III	IV	50.0	ヒノキ
75	南木曽町田立・元組のスギ林	30×100	VI	VI	97.6	スギ
78	山口村上山口・諏訪神社	50×60	VI	VII	94.4	スギ
80	辰野町荒神山・若宮八幡社	20×20	IV	VI	53.5	スギ
81	箕輪町南小河内・スギ林	40×60	II	II	57.0	スギ
83	南箕輪村大宮・信大農学部構内	50×50	III	II	65.0	スギ・ヒノキ
85	伊那市諏訪形・運動公園スギ林	40×70	III	IV	75.1	スギ
86	宮田村南割・ヒノキ林	20×30	IV	V	89.5	ヒノキ
87	駒ヶ根市赤穂・大御食神社	50×100	V	III	70.6	ヒノキ・スギ
88	飯島町石曾根・日曾利橋スギ林	20×40	IV	V	79.0	ヒノキ
89	中川村伊那田島駅～田島スギ林	30×90	V	V	92.3	ヒノキ
90	松川町大島・大島神社	60×80	III	II	69.3	ヒノキ
91	高森町新田・光明寺	50×50	IV	IV	88.3	スギ
92	飯田市座光寺・麻績神社	100×100	VI	VII	100.1	ヒノキ
93	飯田市上川路・八幡宮	30×30	V	IV	79.8	ヒノキ
94	阿智村昼神・阿智神社奥宮	20×20	II	II	70.0	ヒノキ
95	下条村岡草・大山田神社	50×50	III	IV	93.3	スギ
96	阿南町古城・八幡神社	10×20	I	I	70.0	ヒノキ
97	阿南町和合・熊野社	20×20	II	II	49.0	スギ
100	根羽村万場瀬・八柱神社	20×20	III	IV	77.0	スギ

なお、各産地の証拠標本は長野県自然保護研究所 (NAC) に納める。

調査 II

市町村誌自然編等の文献に、ベニシダ自生についての記述があるかどうかの調査を行った。ベニシダが普通に分布している木曽南部、下伊那以外の市町村誌等でベニシダの記述や植物目録に記録のあるものは、以下のとおりである。白馬村誌自然環境編、美麻村誌自然編、長野市誌自然編、上田市誌自然編。これらは、どれも発行年が比較的新しい。その他、白馬村佐野坂、坂城町新地、信濃町琵琶島、飯山市小菅からベニシダの分布の報告がある (堤 1985)。

ベニシダの記録がないものは以下のとおりである。小谷村誌自然編、大町市史第 1 巻、白馬・後立山連峰とその東方山麓のフロラ、北安曇誌第 1 巻自然、八坂村誌自然編、下水内郡植物地理、上水内郡誌自然編、中野市誌自然編、豊野町の自然、生坂村誌自然編、堀金村上巻自然歴史編、豊科町誌自然編、松本市史第 1 巻自然編、塩尻市誌第 1 巻自然、辰野町誌自然編、諏訪の自然誌植物編、茅野市史別巻自然、富士見町誌自然編、戸倉町誌第 1 巻、坂城町誌上巻、丸子町誌自然編、東部町誌自然編、望月町誌第 1 巻自然編、御代田町誌自然編、信州佐久の植物、佐久市志自然編、軽井沢町誌自然編、南佐久郡誌自然編 (下)、椿川村誌自然編、木祖村誌自然編、上伊那誌第 1 巻自然編、伊那市史自然編。

記録がないことと自生しないこととは必ずしも同じとはいえないが、少なくとも普通にあるものではない、といえそうである。

全県のフロラを扱った文献の記録としては清水編 (1998) の他、以下のものがある。

分布域として、杉本 (1966) は暖帯の林地に稀とし、西筑摩 (南半)、下伊那 (根羽、神原以南) を、横内 (1983) は上高井、木曽南部、下伊那南部を、奥原 (1994) は県北部と南部をあげている。また、大塚 (1987) は長野市、信濃町、木曽大桑村以南、伊那谷飯島町以南の標本産地をあげている。これらの文献からベニシダの分布域は県北部と木曽南部、伊那谷中部以南にあるというのが一般認識であったと思う。

調査 III

信州大学 (SHIN) に納められているベニシダの標本は、下記のとおりであった。以下に産地と採集者・採集年を記す。標本産地からみると、木曽谷では大桑村以南に、伊那谷では宮田村以南にその分布が確認できる。

木曽：大桑村須原 600m (奥原 1984)、同阿寺溪谷 700m (堤 1981)、南木曽町田立国有林 800m (奥原 1969)、同読書 (横内 1958)、同柿其 550m (堤 1981)、山口村新茶屋 500m (堤 1981)。下伊那：松川町城 500m (堤 1982)、高森町北林 560m (浅野 1990)、喬木村鞍間洞 600m (古松 1986)、飯田市元善光寺 500m (堤 1982)、同川路天竜峡 410m (浅野 1985)、泰阜村門島駅付近 400m (堤 1981)、阿南町中谷 400m (堤 1981)、同早稲田早稲田神社 570m (浅野 1984)、天龍村伊那小沢～中井侍 400m (大塚 1982)、同平岡ダム東岸 350m (堤 1981)、同不当 280m (浅野 1988)、南信濃村折立 380m (堤 1981)、根羽村万場瀬八柱神社 600m (浅野 1988)。上伊那：宮田村熊野神社 650m (堤 1981)、駒ヶ根市十二天の森 700m (奥原 1994)、飯島町南割 550m (馬場 1982)、同本郷 580m (堤 1981)、中川村葛島 500m (堤

1981), 同渡場 500m (堤 1982)。

他に、藤原陸夫調査記録による産地(南信を除く)は以下のとおりである。北信: 信濃町富士里 700m (1996), 同針ノ木 690m (1997), 三水村戸谷峰 700m (1997), 牟礼村飯綱東高原 950m (1997), 飯山市堀越 800m (1999), 長野市浅川西条 550m (1997)。中信: 堀金村三田 650m (1998), 穂高町烏川 850m (1998), 同小岩岳 600m (1999)。

考察

長野県内において、ベニシダがかなり広い範囲で分布していることが明らかになってきた。以前からそうであったのか、あるいは近年分布が広がったのか、また、調査が不十分

であったのかについては、今回調査した 100 ヶ所において過去に同様な調査をした記録がないのははっきりしたことはいえない。これをもとに 10 年後, 20 年後等の状況の推移を見守りたい。ただ、現在までの調査や文献等から長野県の中北部においては、ベニシダが分布を広げていることが予想される。特に 1 株のみが見つかる場所で小さな株の場合は、明かに最近になって定着したと考えられる。その株が何年生のものかわかると、定着してから何年経つかがわかるが、ベニシダでは困難である。葉(株中最大の葉)の長さがおよそ 40cm 以上にならないと胞子をつけないことが、飯田市麻績神社の集団で観察された(観察結果は別途報告したい)。

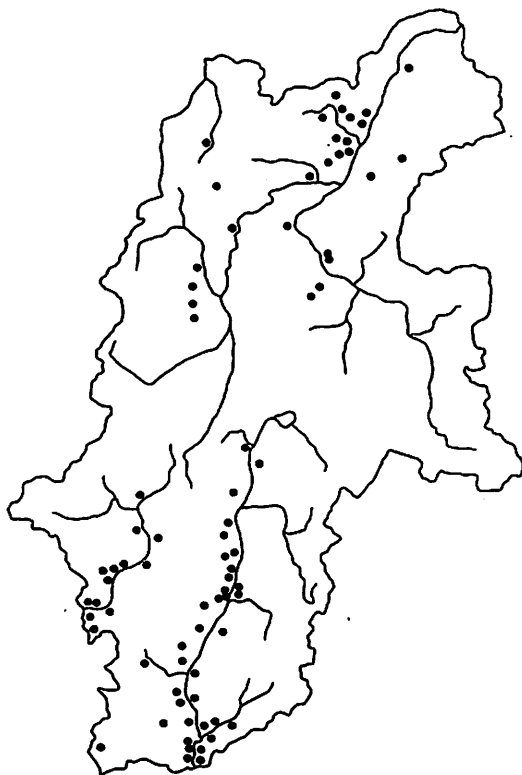


図 3. ベニシダの分布

境・和田（2000）は、長野県内の温量指数の分布について述べている。それによると温量指数 100 を越えている地域は飯田周辺から静岡県境に至る天竜川下流域と、木曽南部から岐阜県境にかけての木曽川流域にあり、また、長野、須坂、坂城にまたがる千曲川流域にも一部指数 100 に達する地域がある。指数 85 を越える地域はもっと広く存在し、今回分かったベニシダの分布域とおよそ一致している。なお、今回の現地調査及び標本調査等のデータを含めたベニシダの分布は図 3 のとおりである。

ベニシダなどシダの仲間は孢子でふえていくが、孢子は風で遠くまで運ばれて、地表に落ちたその場所が生育に適していれば定着が可能と考えられる。暖温帯性のシダで、関東地方以西に分布する種類が秋田県や山形県など東北地方に飛び離れて分布している事例がいくつか知られている。今日の高温傾向は 1990 年頃から顕著になっていて、この傾向は当面続くとみられることから、暖温帯性の種類は、今後より北方へ分布を伸ばしていくと予想される。

最後にベニシダについての情報や資料を提供していただいた藤原陸夫、上野勝典の方々にお礼を申し上げます。

引用文献

- 生坂村誌編纂委員会（1992）生坂村誌自然編。
- 伊那市史編纂委員会（1981）伊那市史自然編。
- 岩槻邦男（1992）日本の野生植物 シダ，平凡社。
- 上田市誌編纂委員会（2001）上田市誌自然編（印刷中）。
- 大塚孝一（1987）長野県のシダ植物，信毎書籍出版センター。
- 大町市史編纂委員会（1984）大町市史第 1 巻。
- 奥原弘人（1994）信濃野生植物総目録，私家版。
- 上伊那誌編纂委員会（1962）上伊那誌第 1 巻自然編。
- 上水内郡誌編纂委員会（1970）上水内郡誌自然編。
- 軽井沢町誌編纂委員会（1987）軽井沢町誌自然編。
- 北安曇誌編纂委員会（1971）北安曇誌第 1 巻自然。
- 木祖村誌編纂委員会（1997）木祖村誌（自然編）源流の村の自然。
- 小谷村誌編纂委員会（1993）小谷村誌自然編。
- 境徹・和田清（2000）長野県内の温量指数分布，長野県植物研究会誌 33:17-20。
- 坂城町誌刊行会（1970）坂城町誌上巻自然編民俗編。
- 佐久教育会（1975）信州佐久の植物。
- 佐久市志編纂委員会（1988）佐久市志自然編。
- 塩尻市誌編纂委員会（1991）塩尻市誌第 1 巻自然。
- 清水建美編（1998）長野県植物誌，信濃毎日新聞社。
- 杉本順一（1966）（完）、長野県植物総目録，長野林友。
- 諏訪教育会（1981）諏訪の自然誌植物編。
- 高橋秀男・中村武久・平林国男（1969）白馬・後立山連峰とその東方山麓のフロラ，神奈川博研報 1: 1-83。
- 田下昌志・西尾規孝・丸山潔編（1999）長

- 野県産チョウ類動態図鑑, 文一総合出版.
辰野町誌編纂専門委員会 (1989) 辰野町誌
自然編.
茅野市 (1986) 茅野市史別巻自然.
堤久 (1985) 長野県のシダ採集ノート 2,
長野県植物研究会誌 18: 6-9.
東部町誌編纂委員会 (1989) 東部町誌自然
編.
戸倉町誌編纂委員会 (1991) 戸倉町誌第 1
巻 (自然編).
豊科町誌編纂委員会 (1995) 豊科町誌自然
編.
豊野町誌刊行委員会 (1997) 豊野町の自然
(豊野町誌 1).
長野県南佐久郡誌編纂委員会 (1994) 南佐
久郡誌自然編(下).
中野市誌編纂委員会 (1981) 中野市誌自然
編.
長野市誌編纂委員会 (1997) 長野市誌自然
編.
- 榎川村誌編纂委員会 (1996) 大地と生物 (木
曾榎川村誌第 1 巻自然編).
白馬村誌編纂委員会 (1996) 白馬村誌自然
環境編.
堀金村誌編纂委員会 (1991) 堀金村上巻自
然歴史編.
富士見町 (1979) 富士見町の植物.
松本市 (1996) 松本市史第 1 巻自然編.
丸子町誌編纂委員会 (1992) 丸子町誌自然
編.
美麻村誌編纂委員会 (2000) 美麻村誌自然
編.
御代田町誌編纂委員会 (1995) 御代田町誌
自然編.
望月町誌編纂委員会 (1994) 望月町誌第 1
巻自然編.
八坂村誌編纂委員会 (1993) 八坂村誌自然
編・自然誌資料.
横内斎 (1983) 信濃植物誌, 信濃植物誌刊
行会.